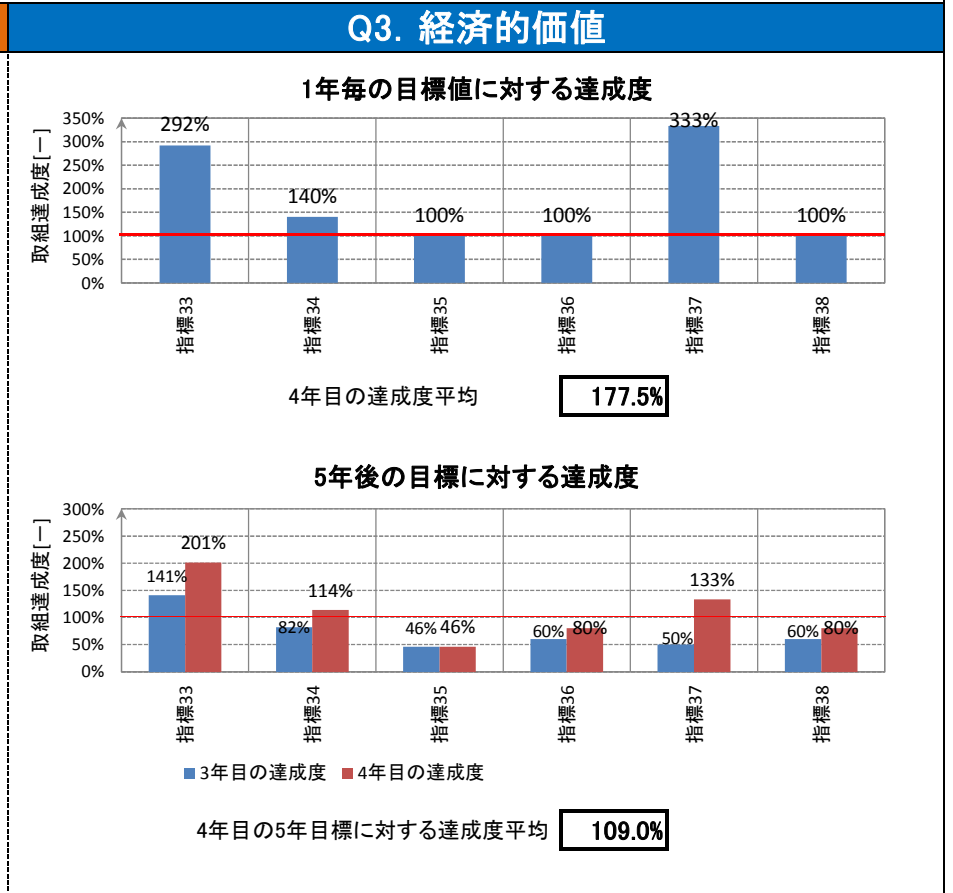
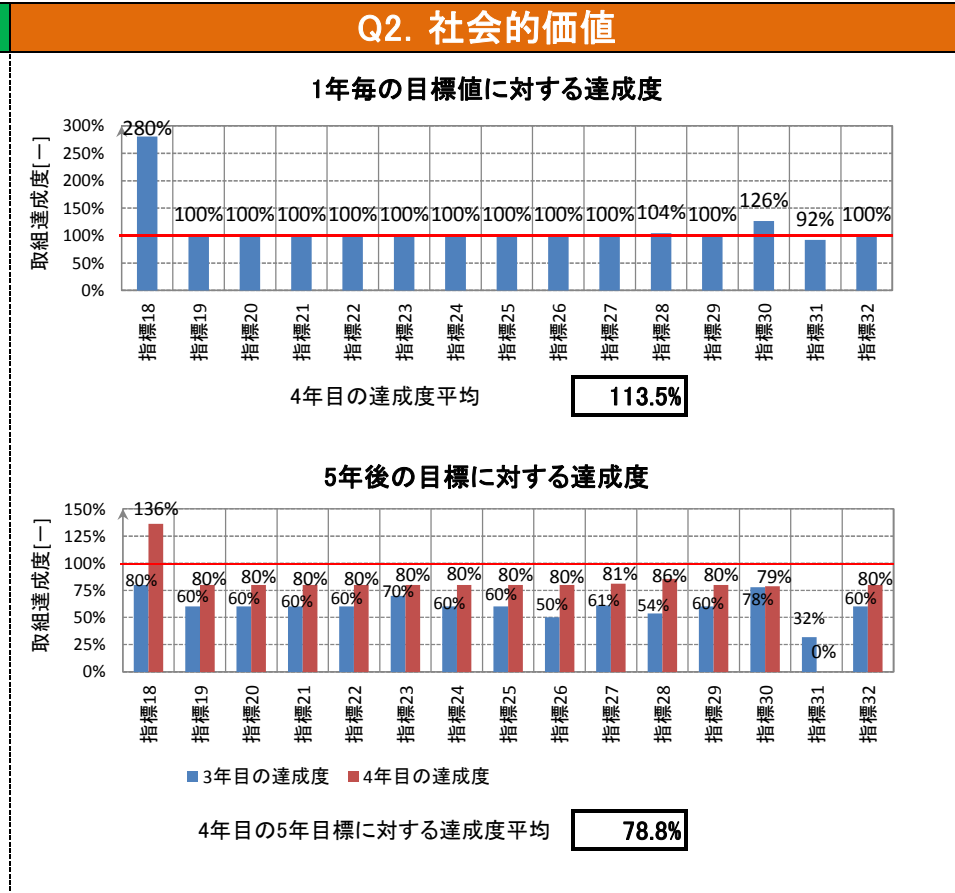
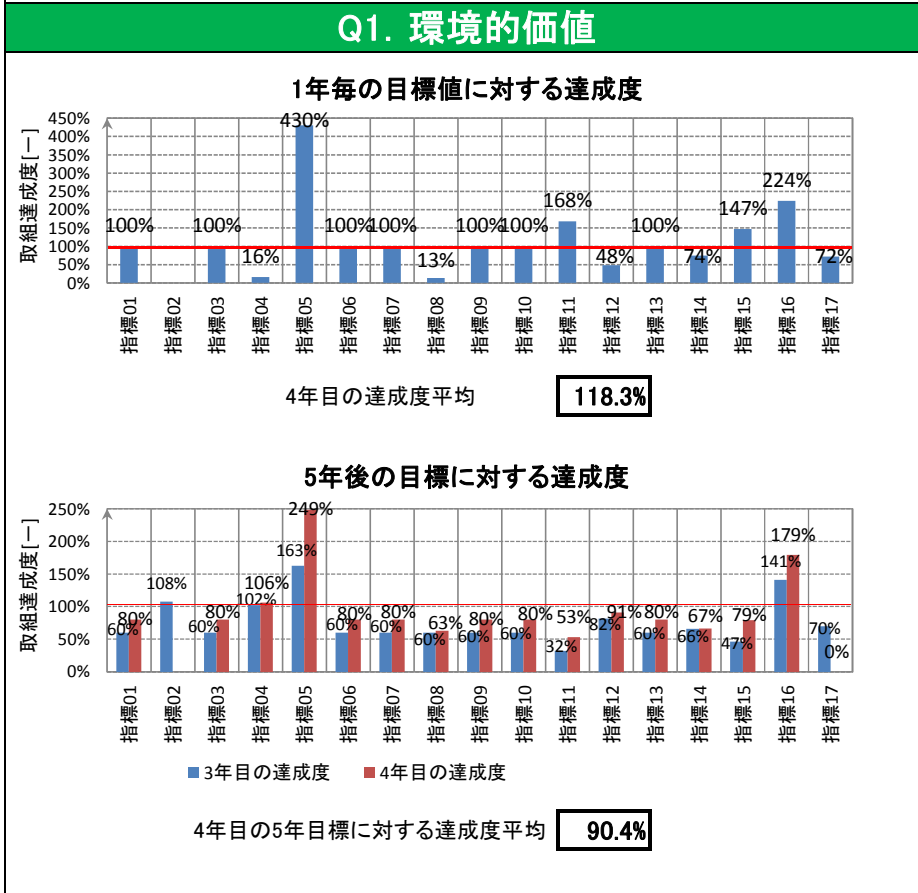


福岡県北九州市	人口: 95.7万人、世帯数: 42.8万世帯(平成28年9月末現在)
	就業人口: 46万人(平成22年度)
	市内GDP: 3.4兆円(平成25年度)
	面積: 492.0km ² (うち森林面積187km ²)

取組進捗評価結果(都市による自主評価に基づく達成度)



指標番号	指標名	Q4. 特記したい事項(国際展開・都市間連携等)	平成27年度の取組総括
指標01	低炭素で安定・安価なエネルギー拠点の形成	<p>(1)カンボジア国・フノンペン市との姉妹都市協定 平成28年3月にカンボジア国・フノンペン市との姉妹都市協定を締結した。また協定締結に先立ち、平成28年1月にカンボジア王国工業手工芸省と「カンボジア王国水道の持続的発展をはかるための活動に関する覚書」を締結した。今後、カンボジア国における水ビジネス参入を促進するとともに、地元企業の振興を図る。</p> <p>(2)ベトナム国6都市におけるU-BCFの実証事業 北九州市内の企業が、JICAの中小企業海外展開支援事業の採択を受け、「ベトナム国上向流式生物接触ろ過(U-BCF)を活用した浄水処理の普及・実証事業」の実施契約を締結。この事業は、ベトナム国6都市の浄水場において、本市が特許を取得している「U-BCF」の効果検証を行うための実証実験を実施するもの。 この普及・実証事業の実施にあたっては、北九州市上下水道局が支援するとともに、日越合資会社(Japan Advanced Water Technology Vietnam Co., LTD)が、同時進行的に対象の水道公社に対し営業活動を行い、浄水場におけるU-BCF整備工事の受注を目指す。</p> <p>(3)中国大気環境改善に係る都市間連携協力事業 平成26年度から実施している「日中大気汚染・省エネ対策共同事業」において、平成27年度も中国側の行政官や技術者等の資質向上を目的とした研修生の受入れや、現状を把握・分析するための専門家の派遣を行った。また、中国・上海市及び唐山市における大気環境改善のための事業を具体的に推進するにあたり、平成27年10月に唐山市、平成27年12月に上海市と「環境分野における交流・協力に関する覚書」を締結した。</p>	<p>平成27年度については、環境・社会・経済の未来価値創造の戦略的な展開を目指し、国際展開を中心とした本市独自の先進的な取組を推進した。 平成27年度の代表的な成果は下記のとおりである。</p> <p>(1)環境的価値 「大規模太陽光発電の導入促進」【指標05】や、「資源リサイクル拠点の形成」【指標16】など、再生可能エネルギー源の導入や効率的なリサイクル手法の確保により、低炭素社会に求められる施策を積極的に展開した。</p> <p>(2)社会的価値 「主要な公共交通の高機能化」【指標18】や、「地域と絆を結び、世代を繋ぐ教育の推進」【指標28】など、環境にやさしい交通体系の構築や学校の教育活動を支援する環境整備により、将来にわたって安心して生活できる持続可能な社会の実現に向けた取組を行った。</p> <p>(3)経済的価値 「実践的環境人材育成拠点の形成」【指標33】では、アジアの環境人材育成拠点形成を目指して、JICA等国の支援や連携による、実践的環境国際研修事業を推進した。また、アジア低炭素化センターにおける取組み【指標37】として、インドネシアの商業施設への高効率空調システム導入や台湾への産業廃棄物リサイクル子会社設立など、環境ビジネスにおける市内企業の海外ビジネス展開を支援し、実現した。</p>
指標02	二酸化炭素排出量の削減率(%)		
指標03	二酸化炭素排出量(t-CO2)(整備完了後)		
指標04	照明灯のLED化数(道路)(灯数)		
指標05	太陽光発電の新規導入量(MW)		
指標06	風力発電システム導入量(計画策定後)		
指標07	工場の基幹的設備の完了		
指標08	新規研究開発プロジェクト(件数)		
指標09	自転車利用環境の向上		
指標10	モーダルシフトの推進		
指標11	CO2排出量削減(t-CO2)		
指標12	植樹本数(本)		
指標13	管根干潟の生物種数の減少(種数)(生物種数が減少しないこと)		
指標14	エコツアー参加者(人)		
指標15	誘客数(人)		
指標16	使用済み小型電子機器等回収量(t)		
指標17	プラスチック製容器包装の分別協力率(%)		
指標18	低床式バスの導入(台)		
指標19	低床車両の導入(編成数)※筑豊電気鉄道、北九州モノレール		
指標20	生活習慣病予防及び重症化予防、健康づくりの推進		
指標21	市民が安心して医療を受けられる体制の維持・構築、在宅医療の推進及び「ピパラーン」支援体制の確立		
指標22	総合療育センターを拠点とした支援事業の推進		
指標23	介護予防や健康づくりの重要性を普及啓発し、市民の自主的かつ積極的な健康づくりの取組の促進		
指標24	高齢者の生きがい、社会参加の推進		
指標25	地域における見守り、支え合いのネットワークの充実を図る		
指標26	障害者等に対する迅速かつ適切な対応の推進		
指標27	環境学習体験校(校)		
指標28	スクールヘルパー延べ活動人数(人)		
指標29	体育の授業以外で継続的な体力向上を図る取組をしている学校の割合(%)		
指標30	居住地の校区外の特別支援学級に通学している対象児童生徒の割合(%)		
指標31	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合(%)		
指標32	市民が安心して受診できる小児救急医療体制及び周産期医療体制の維持・確保		
指標33	国際環境研修員受入数(人)		
指標34	戦略的国際環境協力事業の件数(件数/年)		
指標35	データセンター延床面積(m ²)		
指標36	グリーンシティの輸出(累計)(都市)		
指標37	国際ビジネス案件数(累計)(件数)		
指標38	技術・ノウハウのパッケージ輸出		

委員からの取組全体に関する評価

○取組は随所で成果も十分にあっており、特に国際環境ビジネス等、国際展開の取組は素晴らしく評価できる。
○環境ビジネスの国際展開は、国の範ともなる取組であり、市内の取組との連携を期待する。
○環境・エネルギー分野で、地域エネルギー会社を始め多面的で先進的な取組をされており、高く評価できる。城野地区等、新しい取組みも進捗しているが、今後は東田等の従来の地区と連携するネットワークでの事業効果を期待する。
○今後はさらに、健康や福祉といった点での社会的価値や、住みやすさ・楽しさといったQOLの向上といった、生活環境の改善に直結する取組に力を入れるとともに、まちとしての魅力やブランド力向上に努め、若者や外国人が魅力を感じ移住することを目的とした施策に期待する。